

2026年6月4日

各位

三井住友トラストグループ株式会社  
三井住友信託銀行株式会社

## ALB Japan Law Awards 2026 ファイナリスト選出に関するお知らせ

三井住友トラストグループ株式会社(執行役社長(CEO):大山 一也)および三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:米山 学朋)は、三井住友信託銀行(以下「当社」)が Thomson Reuters グループの国際的法律情報メディア Asian Legal Business(以下「ALB」)が主催する「ALB Japan Law Awards 2026」において、「Financial Services In-House Team of the Year」、および「Debt Market Deal of the Year」の2部門でファイナリストに選出されましたのでお知らせします。当社にとって初めての選出であり、独立した審査委員会によって当社の法務部門が国際的に評価されたものです。



### 1. ALB Japan Law Awards について

2026年で第22回を迎える、日本の法務業界において最も権威ある年次アワードの一つです。各分野の法務専門家から構成される独立した審査委員会が、応募部門ごとに厳格な基準(取引の革新性、規制対応の質、組織体制、業界・社会への貢献等)に基づき評価し、各部門数社のみがファイナリストとして選出されます。

### 2. Financial Services In-House Team of the Year について

本部門は、日本の金融サービス業界に属する事業会社のインハウス法務チームを対象とするものです。当社は、複雑化・高度化する金融規制への適切な対応、グループガバナンスの強化、及び新規金融商品の組成支援を一体として推進する法務機能の整備に継続的に取り組んできました。特に、セキュリティ・トークン(ST)を用いた不動産小口化商品の組成支援をはじめとするデジタル証券分野での先進的な取り組みが、革新的な金融商品創出を支える法務基盤として評価の対象となっています。

### 3. Debt Market Deal of the Year について

本部門は、過去 1 年間に日本市場で実行されたデット市場取引のうち、規模・複雑性・革新性等の観点から最も顕著なディールを表彰するもので、当社が関与した取引が選出の対象となっています。

独立した審査委員会による本選出は、当社の法務機能が、コーポレートガバナンス・コードが求める「リスクテイクの裏付け」として有効に機能していることを客観的に示すものであり、当グループに対する市場・社会からの信認の獲得にもつながるものと認識しています。今後も、ガバナンス強化を通じた規制リスクの低減、および新規金融商品の組成を支える法務基盤による収益機会の拡大を通じて、すべてのステークホルダーの Well-being 向上に貢献していきます。

以上